

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
657	農業振興事務経費		01	一般会計	
42	持続的で個性的な農林業を実践する		06	農林業費	
			01	農業費	
			03	農業振興費	
			101	農業振興経費	
			01	農業振興事務経費	
担当部課名	島ヶ原支所 産業建設課		細目	101	農業振興経費
作成者氏名	増田 伸一	連絡先	59-2294	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域の農業を担う農業者等		現況に見合った農用地の位置づけが出来る。
本年度事業内容	農業振興地域整備計画の基礎調査を実施する。	
開始年度	平成 年度	終了年度
平成 年度	根拠法令・要綱等	農業振興地域の整備に関する法律

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25
	人件費合計(A)	1,800	1,800	1,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	89	92	92
	委託料			
	需用費	73	76	76
	使用料及び賃借料	16	16	16
	その他			
合計(A+B)		1,889	1,892	1,892
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源		1,889	1,892	1,892
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
地元説明会開催(基礎調査)	集落		7				
地元要望取りまとめ(基礎調査)	集落		7				
地元要望取りまとめ(基礎調査外)	集落	3					7

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地元申出(農地編入・除外)実施比率 実施(農地編入・除外)÷地元申出(農地編入・除外)	農業振興地域整備計画の農地の編入除外につき、地元申出件数を分母に、実施件数を分子とする、地元申出実施比率を指標とした。	%	100 目標 ()	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昭和48年度に旧島ヶ原村において、農業振興地域整備計画が策定され、以後数回の変更を経て現在の伊賀市農業振興地域整備計画が策定されています。しかしながら現在の農用地区域の設定においては、優良農用地の適正確保のための農用地設定とは相当差異も見受けられることから、本年度基礎調査を実施し地域の特性に応じた農用地設定を実施する。

評価	必要性	4	本制度は農業振興地域の整備に関する法律に基づき概ね5年ごとに基礎調査による変更を行うもので、農業の健全な発展と活力ある農村社会の形成を図っていくためには、優良農用地の確保を図っていく必要がある。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	2		
	効率性	4		